

令和元年度事業評価

課別評価シート

【都市計画部 地域整備課】

目次

1 各事業の進捗管理	P. 1
2 【住環境】分野の事業の評価	P. 3
3 【災害対策】分野の事業の評価	P. 4

このシートでは、基本構想の実現に向けて、目指すべき中間アウトカムと、それを達成するための手段を整理しています。

各課ではこのシートを活用し、計画事業の進行管理を行うとともに、中間アウトカムの達成の観点から自己評価を行い、計画事業の今後の方向性を検討します。

評価の対象となる計画事業	
事業番号	事業名
住01-01	地区まちづくりの推進
住01-02	再開発事業の推進
災対01-02	耐震改修促進事業
災対03-02	不燃化推進特定整備地区(不燃化特区)事業の推進
災対03-03	細街路の整備

※事業番号は、「基本構想実施計画」に掲載している番号を使用しています

課題の発見及び今後の方向性を記載にあたっては、以下の点を参考としてください。

《検討の視点》

課題の洗い出し

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化 ○中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化 ○中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度
(事業実績の推移) | <ul style="list-style-type: none"> ○左記の他、事業実施に当たり、必要となる考え方
(例) ・「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付 ・障害を理由とした差別の解消・合理的配慮 ・男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮 など |
|--|---|

見直す必要のある計画事業を抽出

方向性の検討

- 中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段
- 中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体(民間活力の活用)
- 中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携(整理・統合)
- 新規事業の必要性
- 投入する資源(予算・人員)の最適化・再配分

【方向性の類型】

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------|
| 拡充 → 計画していた事業内容から、量・対象を拡充するもの | 現状維持 → 事業の対象・質、コストとも変わらないもの |
| 改善・見直し → 計画していた取組手法を改善・見直しするもの | 縮小 → 計画していた事業内容を縮小するもの |
| 終了予定 → 今年度中に終了を予定しているもの | 終了済 → 昨年度までに終了した事業 |

1 各事業の実施状況(進行管理)

基本構想実施計画に掲げた事業量を達成するために、各計画事業の実施状況をチェックし、課題があるものについては、その内容と改善策を記載します。

事業番号	事業名		中間アウトカム		
住01-01	地区まちづくりの推進		住環境(A)	災害対策(B)	
			H29	H30	H31
	主な取組	根津地区は地区計画案を説明し、地域ごとにご意見を伺いました。その他の地区はまちづくり手法の検討等を行いました。	根津地区は、地域ごとのご意見を伺いました。その他の地区はまちづくり手法の検討等を行いました。		
	事業費(千円)		19,870	28,207	
	行政コスト(千円)		42,803		
	所要人員		3.038	3.028	
	進捗の課題	無	進捗の課題と改善策		

事業番号	事業名		中間アウトカム		
住01-02	再開発事業の推進		住環境(A)	住環境(C)	災害対策(B)
			H29	H30	H31
	主な取組	春日・後楽園駅前地区の工事等事業進捗に伴い、補助金の交付、並びに各種手続きについて再開発組合に適宜助言を行いました。	春日・後楽園駅前地区の工事等事業進捗に伴い、補助金の交付、並びに各種手続きについて再開発組合に適宜助言を行いました。		
	事業費(千円)		1,594,462	3,373,786	
	行政コスト(千円)		1,611,238		
	所要人員		2.223	2.217	
	進捗の課題	無	進捗の課題と改善策		

事業番号	事業名		中間アウトカム				
災対01-02	耐震改修促進事業		災害対策(A)	災害対策(B)			
			H29	H30	H31	累計	
	主な取組	耐震改修等	件	35	48	83	327
		特定緊急耐震改修等	件	3	4	7	105
		事業費(千円)		29,530	108,213		
		行政コスト(千円)		59,540			
		所要人員		4.332	3.592		
	進捗の課題と改善策	耐震改修等の件数が伸び悩んでいます。今後も耐震セミナーや相談会等での普及啓発や事業の拡充を含めた検討を行い、耐震化率の向上を図ってまいります。					

事業番号	事業名		中間アウトカム				
災対03-02	不燃化推進特定整備地区(不燃化特区)事業の推進		災害対策(B)	住環境(C)	災害対策(A)		
			H29	H30	H31	累計	
	主な取組	建築物の除却工事費等の助成	件	5	14	19	69
		事業費(千円)		31,130	46,398		
		行政コスト(千円)		38,821			
		所要人員		1.109	0.919		
	進捗の課題と改善策	耐火性の高い建物への建て替え等の件数が伸び悩んでいます。今後も戸別訪問や相談会等にて権利者へ助成制度の利用を促し、耐火性の高い建物への建て替えを促進していきます。					

事業番号		事業名			中間アウトカム			
災対03-03		細街路の整備			災害対策(B)			
		H29	H30	H31	累計	3カ年計画		
主な取組	整備件数	件	225	210		435	636	
	整備延長	m	2,597	2,720		5,317	7,926	
事業費(千円)			364,156	312,835				
行政コスト(千円)			404,649			進捗の課題	無	
所要人員			6.191	5.936				
進捗の課題と改善策								

2 【住環境】分野の中間アウトカムに関する事業の評価

【都市計画部 地域整備課】

本区の事業評価では、基本構想に掲げる各分野の将来像を達成するための、具体的に目指すべき状態を中間アウトカムとしています。ここでは、中間アウトカムまたは事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合に、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

基本構想実施計画

中項目	4-1 住環境
将来像	だれもが住み続けたい・住みたくなる快適で魅力的なまち

中間アウトカム (A) 地域の特性やニーズを取り入れたまちづくりが進められている

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
住01-01	地区まちづくりの推進	地域整備課	地域の特性を生かした、住民主体のまちづくりが進められている	現状維持	現状維持
住01-02	再開発事業の推進	地域整備課	地域の特性を生かした、公共性の高い市街地整備が進められている	現状維持	現状維持
住02-01	景観まちづくりの推進	住環境課	区民や事業者が景観に配慮し、良好な景観が形成されている		
住05-01	公園再整備事業	みどり公園課	地域のニーズを取り入れた、快適な公園等が整備されている		

中間アウトカム (C) 安全・安心な生活環境が整備されている

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
住01-02	再開発事業の推進	地域整備課	市街地の防災性が向上し、良好な住環境が形成されている	現状維持	現状維持
災対03-02	不燃化推進特定整備地区(不燃化特区)事業の推進	地域整備課	耐火性の高い建物への建て替えが進んでいる	現状維持	現状維持
住03-01	バリアフリー基本構想の推進	都市計画課	ハードとソフトの両面から、区全体のバリアフリー化が進められている		
住03-02	バリアフリーの道づくり	道路課	区道のバリアフリー化が進められている		
住03-03	公衆・公園等トイレの整備	みどり公園課	だれもが快適に利用できる公衆・公園等トイレが整備されている		
住04-01	マンション管理適正化支援事業	住環境課	適正なマンション管理が行われている		
住07-01	公害防止指導	環境政策課	石綿の飛散が防止されている		
住07-02	歩行喫煙等の防止啓発	環境政策課	喫煙マナーが向上し、地域美化が推進されている		
災対03-04	区道870号無電柱化事業	道路課	歩行空間の安全性・快適性が向上している		
災対03-05	シビックセンター改修	施設管理課(保安技術課・整備技術課)	シビックセンターのユニバーサルデザインの充実が図られている		
安03-03	コミュニティ道路整備	道路課	歩行者・自転車・自動車それぞれが安全に安心して利用できる道路環境が整備されている		
安03-05	自転車走行空間整備	道路課	歩行者・自転車・自動車それぞれが安全に安心して利用できる道路環境が整備されている		

3 【災害対策】分野の中間アウトカムに関する事業の評価

【都市計画部 地域整備課】

本区の事業評価では、基本構想に掲げる各分野の将来像を達成するための、具体的に目指すべき状態を中間アウトカムとしています。ここでは、中間アウトカムまたは事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合に、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

基本構想実施計画

中項目	4-3 災害対策
将来像	備えと助け合いのある災害に強いまち

中間アウトカム (A)

区民が日頃から災害に備え、自ら適切な対策を講じている

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
災対01-02	耐震改修促進事業	地域整備課	建物の耐震化が進んでいる	改善・見直し	現状維持
	<p>前回の評価結果の内容</p> <p>前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況</p>		<p>新耐震基準施行から37年経過し、耐震性の低い木造住宅の老朽化が進んでいます。これらは、耐震改修工事を行っても、工事費が新築並みに高額になる傾向がある上、古い構造体が残るため耐用年数が少ないなど、所有者の負担が大きい割に効果は限定的です。今後は、耐震性が低い老朽木造住宅の建替えを推進するために、事業の拡充を含めて検討し、耐震化率の向上を図ってまいります。</p> <p>耐震性が低い老朽木造住宅の建替えを推進するために、木造住宅除却助成の助成金額と対象区域等を拡充しました。</p>		
災対03-02	不燃化推進特定整備地区(不燃化特区)事業の推進	地域整備課	耐火性の高い建物への建て替えが進んでいる	現状維持	現状維持
災対01-01	地域防災訓練等	防災課	地域で防災訓練が活発に行われ、多くの区民等が参加している		
災対02-01	区民防災組織の育成	防災課	区民主体の防災訓練等が活発に行われている		
災対02-02	避難所運営協議会運営支援	防災課	区民の避難所運営に関する能力が向上している		
災対02-03	中高層共同住宅の支援	防災課	災害発生時における中高層共同住宅の防災行動力が確保されている		

中間アウトカム (B)

災害に強い都市整備が進んでいる

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
住01-01	地区まちづくりの推進	地域整備課	市街地の防災性が向上している	現状維持	現状維持
住01-02	再開発事業の推進	地域整備課	市街地の防災性が向上している	現状維持	現状維持
災対01-02	耐震改修促進事業	地域整備課	建物の耐震化が進んでいる	改善・見直し	現状維持
前回の評価結果の内容	新耐震基準施行から37年経過し、耐震性の低い木造住宅の老朽化が進んでいます。これらは、耐震改修工事を行っても、工事費が新築並みに高額になる傾向がある上、古い構造体が残るため耐用年数が少ないなど、所有者の負担は大きい割に効果は限定的です。今後は、耐震性が低い老朽木造住宅の建替えを推進するために、事業の拡充を含めて検討し、耐震化率の向上を図ってまいります。				
前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	耐震性が低い老朽木造住宅の建替えを推進するために、木造住宅除却助成の助成金額と対象区域等を拡充しました。				
災対03-02	不燃化推進特定整備地区(不燃化特区)事業の推進	地域整備課	耐火性の高い建物への建て替えが進んでいる	現状維持	現状維持
災対03-03	細街路の整備	地域整備課	災害時の活動に配慮した道路拡幅整備が進んでいる	現状維持	現状維持
観01-01	無料公衆無線LANの整備	情報政策課(防災課)	国内外からの観光客等が、インターネットを利用して災害時の情報を容易に取得することができる		
環01-01	環境改善舗装	道路課	治水対策など、都市環境の改善が図られている		
災対03-01	熊本地震を踏まえた災害対策の充実・強化	防災課	熊本地震を踏まえ、区の災害対策の充実・強化が図られている		
災対03-04	区道870号無電柱化事業	道路課	災害時における緊急輸送道路の通行障害が防がれている		
災対03-05	シビックセンター改修	施設管理課(保全技術課・整備技術課)	シビックセンターの防災拠点としての機能が向上している		
安01-02	文京区空家等対策事業	住環境課(建築指導課)	管理不全な空家が減っている		
安03-04	橋梁アセットマネジメント整備	道路課	橋梁の適切な予防保全が図られている		

評価実施のチェックリスト

以下の各項は、事業評価にあたって留意すべき視点です。課別評価シートの記入にあたって、これらの視点を踏まえて評価を行ったか確認し、それぞれの項にチェックを入れてください。

【課題の洗い出しの視点】

- 中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化
- 中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化
- 中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度(事業実績の推移)
- 「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付
- 障害を理由とした差別の解消・合理的配慮
- 男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮

【方向性の検討の視点】

- 中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段
- 中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体(民間活力の活用)
- 中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携(整理・統合)
- 新規事業の必要性
- 投入する資源(予算・人員)の最適化・再配分